福祉保健関係部課長会議議事録

１　日　時　令和２年８月１９日（水）午後１時２８分から午後２時２８分
２　場　所　愛知県自治センター４階　大会議室
３　当番市　長久手市
４　出席者　県　高齢福祉課　生きがい・福祉医療Ｇ　小坂高弘課長補佐
　　地域福祉課　子ども未来応援Ｇ　羽生康一課長補佐
　　障害福祉課　業務・調整Ｇ　浅野美佐子課長補佐
　　子育て支援課　子育て給付Ｇ　山内満課長補佐
　　感染症対策課　体制整備Ｇ　垣添寛和課長補佐
　　市　長久手市福祉部長　川本晋司　始め３８名
　　市長会事務局　財政係長　渡辺加奈子　始め２名
５　内　容
（１）開　会　市長会事務局　渡辺加奈子財政係長

（２）あいさつ
○障害福祉課　業務・調整Ｇ　浅野美佐子課長補佐
会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。
本日の会議は５つの議題を中心に開催というご案内をいただきましたので、福祉局と感染症対策局から関係する課の担当者が出席させていただいております。
本県では、ただいま、８月６日から８月２４日までの１９日間、新型コロナウイルス感染症愛知県緊急事態宣言が発出されております。県民の皆様、医療関係者、市町村、企業等が一丸となり、オール愛知で第２波の大きな波を乗り越えていこうとするものです。
本日も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取組みが議題として取り上げられておりますので、活発な議論が繰り広げられることと思いますが、感染拡大防止のためには、今後も県と市町村の皆様とが連携して対応していくことが必要不可欠となります。
福祉や医療の充実のため、安心・安全な地域づくりのためには、皆様と一緒に考えていくことが重要で、本日の会議は意見交換できる大変貴重な機会です。有意義な時間となりますことを期待いたしまして簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

（３）議　題

議長選出：長久手市　川本福祉部長

本日は当番市ということで、議長を務めさせていただきます。円滑な議事運営に精一杯努力させていただきますが、なにぶん不慣れでございますので、皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題の協議に入ります。

各市の状況は、前もって配布させていただいておりますので、各市の状況の発表はとり行わず、議題ごとに、①提案市の趣旨説明、②私の方から取りまとめ状況の説明、③市の回答の補足説明がある市は補足説明、④他市の状況を確認したい場合は、聞かせていただき、⑤議題提案市において、これで良いかなど確認させていただいて、⑥最後に必要に応じて愛知県の方からコメントをいただくという順番ですすめさせていただきます。

議題の数も多いので、途中換気をしながら、１５時ごろの終了を予定とし、進めさせていただきたいと思います。

この会議は、要望の場ではなく、情報や意見交換の場として開催するものですので、みなさまからの活発な意見と情報共有をお願いします。

議題１　災害時における医療救護所用の医薬資材について（岡崎市提出）

岡崎市【趣旨説明】

岡崎市福祉部医療助成室の鴨下です。よろしくお願いします。

岡崎市では災害時に医療救護所を最大１０か所の小学校に開設予定としています。しかし、通常の避難所運営と区分けして活動場所を確保する必要が生じ、広い敷地と体育館以外の屋内施設をもつ中学校に設置場所を変更する予定です。医療救護所の体制の見直しを行う中で、医療資材の保管方法や内容についても検討の必要性が出てきましたので、議題として提出しました。

本市では、医師会と薬剤師会に必要な医薬資材を選定してもらいました。内容は外傷の処置に必要な物と、外用薬と内服薬でおおよそ３日間必要と想定される量で備蓄をしています。

医薬品は防災倉庫、医師の自宅、自院、薬剤師の薬局でのランニング備蓄保管の３パターンありますが、防災倉庫については温度管理ができず、昨年、防災倉庫保管のエタノールを調査したところ適正濃度でないことが判明しまし、保管場所や医薬品の品目について今年度検討しているところです。

医薬品に関してはＪＭＡＴの医療資材リストを参考にしようと考えており、保管場所は温度管理がしやすい屋内、中学校の施設内での保管も考えました

が、学校側から衛生面で心配との発言もあり、スタッフの参集基点となる建物内での保管を検討しています。資材の品目や保管場所、配慮されている課題等について、各市の状況をご教授ください。

議長（長久手市）

ありがとうございました。それでは、私から江南市さんにお聞きします。

江南市さんでは、「問１で医薬品等は、協定の中で緊急時は、３師会が持参するとのことから備蓄はしていない」とのことですが、もう少し詳しく教えていただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

江南市

江南市福祉課の倉知です。

江南市では、災害時に救護所は市内に５か所ある中学校に置くことが決まっています。３師会の先生や庁内の担当課等が集まり５～６年前に検討を重ね、中学校の校区ごとに医師会の先生、歯科医師の先生、薬剤師の方の担当を決め、実際に災害が起こった時には、自分の医院の状況を確認した上で、救護所に参集できれば、医院にある医薬品等持ち出せる物はそれぞれで持ち出し、医療救護所に集まっていただき、集まった医薬品等でまずはやれる処置を行うという話し合いが行われました。現在、救護所となる中学校の倉庫に資料に記入したガーゼやグローブ等を保管していますが、今回コロナの関係でもう少し物品の準備が必要であるということを認識しましたので、さらに３日間程度必要な物品を追加しながら補充していきたいと考えています。

議長（長久手市）

ありがとうございました。

続いて、豊明市さんにお聞きします。

豊明市さんでは、「問４で新型コロナウイルス感染症対策の継続を想定し他分野も合わせての全体的な備蓄規模、内容の洗い出しに着手した。」とのことですが、具体的にどのようなことか教えていただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

豊明市

豊明市です。

課題認識としては他の団体の皆様と同じような課題があります。本市は、自治体の規模、地域も大きくないため、市役所の近くにある保健センターが救護所という位置づけになり、災害時には、医師会を中心とした形で対応す

ることになっています。ただ、医師会と市で、医薬関係の資材をどのように分担して動かすのか、どのように備蓄するのかという課題があります。

今回、コロナ対策の長期化を想定して市全体で衛生資材の備蓄等をしていますが、さらに長期となることを想定して、様々な場面で必要な物の洗い出しをしており、災害時に対応が必要になった時に救護所や各避難所に医薬剤をどのように動かすかということを具体化したいと考えているところです。さらに本市に立地している藤田医科大学の中に、昨今、災害の現場に駆けつけている災害外傷外科というチームがあり、現場で蓄積した経験に基づく助言がありましたので、この際、本市の災害対応に藤田医科大学も関与していただいて、より具体的で有効な活動を想定しようと準備的な会議を始めているところです。

この中で、協定を締結し、具体的な体制を詰めたいと考えています。地元医師会や薬剤師会にストックをどれだけ持っていただいて、それをどのように動かすのか、トリアージができるクリニックにどのように持ち込むのか、そういったことを具体的に考えようと動き出したところです。

議長（長久手市）

ありがとうございました。それでは、提案市の岡崎市さん、よろしいでしょうか。

岡崎市さんから、お尋ねがございましたら、皆さまどうぞご対応よろしくお願いいたします。

他市の皆さま、お尋ねしたい点、また、ご意見がございませんでしょうか。

（なし）

議題２　ひとり暮らし高齢者の方に対する後期高齢者福祉医療費の助成について（岡崎市提出）

岡崎市【趣旨説明】

本市では、市単独事業で後期高齢者福祉医療マル福にて市民税非課税のひとり暮らしの後期高齢者の医療費を助成しています。昨今、国の全世帯型社会保障検討会議において現役並み所得のある高齢者以外にも一定の所得のある方については、その医療費の窓口負担を２割にすることが検討されており、これからもひとり暮らしの高齢者が増大する中、ひとり暮らしの理由をもって福祉医療として支援していくことを見直す必要があるのではないかと考えています。そこで各市の状況について、ご教示ください。

議長（長久手市）

ありがとうございました。

それでは、私から常滑市さんにお聞きします。

常滑市さんでは、「平成２９年度から運用の見直しを行い、認定基準を厳しくした」とのことですが、検討の経緯などを教えていただけますでしょうか。

常滑市

常滑市保険年金課の中野です。

後期高齢者福祉医療費の助成については、平成２０年に県の方で廃止されたということで、常滑市としてもひとり暮らしということで福祉の対象とするのはどうかと考えており、あまり広報をしていないこともあって少しずつ減少していました。しかしながら、平成２７年に新規で増えたことが平成２９年から厳格化した経緯と聞いています。運用基準を作って、近隣地に親族がいないという条件は元々ありましたが、近隣地を愛知県内として、親族も３親等内の親族、姻族、配偶者ということを明記したこと、親族であること及び所得の関係でそれまでは申し出によってということでしたが、戸籍や所得については証明書を取るようにしたということで、現在のところ該当者は１０人程みえるという状況です。

議長（長久手市）

ありがとうございました。

続いて、高浜市さんにお聞きします。

高浜市さんでは、「今年度をもって新規認定を終了する予定で、いずれはすべてのひとり暮らし高齢者に向けた助成廃止も検討する」とのことですが、検討の経緯などを教えていただけますでしょうか。

高浜市

高浜市です。

現在の後期高齢者福祉医療費の助成、特にひとり暮らし高齢者に対する助成は、岡崎市さんと全く同じ状況です。

本市では、予算編成の際に福祉医療費全体が年々増加していることが大きな課題となっています。その中でさらに助成を強化していく面も必要ですし、助成を見直す必要がある部分も考えている中で、ひとり暮らし高齢者に対する助成のあり方というのを少し見直してもよいのではという考えに至りました。

資料には令和２年度をもって新規認定受付終了する予定と書いてありますが、担当部署に確認したところ、まだ正式決定ではありません。あくまでこの

ような形で進めていきたいと考えているとのことです。

議長（長久手市）

ありがとうございました。それでは、提案市の岡崎市さん、よろしいでしょうか。

（なし）

他市の皆さま、お尋ねしたい点、また、ご意見がございませんでしょうか。

（なし）

愛知県からのコメント

高齢福祉課の小坂です。

ひとり暮らし高齢者の方への助成については、提案のとおり平成２０年４月に県制度としては廃止し、多くの市町村でその後も引き続き助成していただいているという状況です。県として助言は難しいですが、一方で国の動きでもあります後期高齢者の医療制度、窓口負担が１割から２割と引き上げる議論がなされている中で、本県の福祉医療制度も例えば２割に引き上げられた場合に財政的な負担がかなり増加することが見込まれますので、市町村と同様かと思いますが引き続き国の動向を注視していきたいと考えています。

議題３　緊急的に住居を失った者を一時的に保護する場所の確保について（江南市提出）

江南市【趣旨説明】

江南市では、今年度に入り、４月～５月で緊急的に保護する場所を確保しなければいけない事例が障害者の虐待事例で３件、生活困難者で１件と数件重なり、対応に困りましたので、議題としてあげさせていただきました。

本市では、現在１件１件、泊まれるところにあたっていくという方法をとっておりますので、何か政策的に各市で実施している状況があればご教示ください。

議長（長久手市）

ありがとうございました。

それでは、私から各市の状況をお聞きします。

資料３－１「障害者虐待等で避難する者で、ショーステイ等避難先との調整が難しい時間帯に逃げてきた者」への対応について、蒲郡市さんにお聞きしま

す。

蒲郡市さんでは、「安心生活支援実施要綱を定め、一時的に保護する場所を確保している」とのことですが、現状の取組状況について教えていただけますでしょうか。

蒲郡市

蒲郡市福祉課の永田です。

説明の前に一点修正があります。本市の有料の場合の金額の部分で３千円から１万１千円となっておりますが、こちらに誤りがありまして、から１万１千円の部分につきましては削除いただき、３千円居室のみと修正をお願いします。

本市では、平成３０年度に安心生活支援事業実施要綱の制定をしており、「緊急一時的対応事業」と「体験的宿泊事業」の２つの事業の内容となっています。居室については、現在、福祉ホームを市内で運営している社会福祉法人と体験的宿泊いわゆるひとり暮らし体験を視野に入れて話をし、緊急的一時対応でも利用できる契約を締結しています。契約締結後、居室の利用実績はこれまでのところありません。

一方で、緊急的一時対応については、本市では昨年、一昨年と１件ずつ虐待の案件が発生しています。緊急一時保護における生活にかかる相談や、関係機関との連絡・調整等の対応、あるいは対象者の直接的支援については、社会福祉協議会と契約を結んでおります。

本市は障がい者支援センター、基幹センター業務を社協に委託をしていますので、この緊急的一時対応についても社協と協議を重ね、平成３０年度に契約を締結しました。

この緊急的一時対応については、１件あたり障害福祉サービスの福祉型短期入所サービス費及び緊急短期入所受け入れ加算の３日分を支払うという内容となっています。先ほどの過去２件の案件についても、障がい者支援センターが緊急的一時対応をしており、結果的に対応の流れから宿泊をする形になり、障がい者支援センター内での宿泊という形を取りました。本市の障がい者支援センターは以前は県の港湾労働者福祉センターとして使われていた建物でしたので、お風呂やシャワーがあり一時的に夜を過ごすことが可能であったため、対応できました。そのため、居室の利用実績はありません。

議長（長久手市）

ありがとうございました。

続いて、資料３－２「生活困窮者等で、無料・低額宿泊所等が満床で、一時

的な身を置く場所がない者」への対応について、豊田市さんにお聞きします。
豊田市さんでは、「旅館組合を通じて協力ホテルを募り、協力してくれると回答したホテルを確保」とのことですが、現状の取組について教えてください。

豊田市

豊田市総務監査課の古田です。
豊田市の場合、内容については、資料の回答のとおり、現状、旅館組合を通じて８つ程度が手を上げていただきました。ただ、運用の中では現状、１つの中で対応しています。
今年度から実施している事業で生活困窮者については、５月の３件のみで現状は落ち着いています。障害者の制度を含めてこの中で対応していますが、他の制度でも対応できないか考えています。昨今、この事情でありますので、コロナ対策として健康チェックリストを出していただいた上で旅館組合も安心して受け入れてもらえるようお願いしながら進めている状況です。

議長（長久手市）

ありがとうございました。
それでは、提案市の江南市さん、よろしいでしょうか。どこかお尋ねしたい市がございましたら、お願いいたします。

江南市

碧南市にお聞きしたいのですが、資料３－１障害者虐待等の場合のところで、市内のバリアフリー対応の宿泊施設を対象としているようだが、障害の程度が一人で泊まれる程度の自立状況等、何か条件を加味して対応しているのか教えてください。

碧南市

障害の担当ではないため詳細は即答しかねます。後日、江南市の方へ担当からご回答させていただきます。

議長（長久手市）

よろしかったでしょうか。また、直接、市の方へお問い合せいただければ対応いただけると思います。

江南市

担当者から碧南市以外にも問合せをさせていただくかもしれないので、よろ

しくお願いします。

議長（長久手市）

他市の皆さま、お尋ねしたい点、また、ご意見がございませんでしょうか。

（なし）

愛知県からのコメント

障害福祉課の浅野です。

まず、この場をお借りしまして、日頃より障害者虐待防止について各市の皆様に大変なご協力をいただいておりますことを感謝申し上げます。

障害者虐待等で避難する者でショートステイ等、避難先との調整が難しい時間帯に避難されてきた方への対応について申し上げます。

この問題につきましては、各市において協定や自立支援給付等によってご対応していただいているということで大変ありがとうございます。

居宅の確保にかかる費用の補助については、地域生活支援事業費等補助金の事業の一つであります障害者虐待防止対策支援事業が活用できますので、市でご検討ください。

地域福祉課 羽生です。

緊急的に住居を失った者の一時的に保護する場所の確保について、一時的な居所としましては、主に生活保護の利用を前提とした無料低額宿泊所や生活困窮者自立支援法の任意事業である一時生活支援事業による旅館、ホテル等があります。受入先の確保については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下において、既に県所管の無料低額宿泊所は満員の状態で、これまでになかった状況です。今後、一層、居所が不安定な方からの相談の増加が見込まれます。居住地のない生活困窮者、要保護者からの相談、申請等に対応するため、各福祉事務所、相談支援機関における一時的な居所の確保が急務となっています。

国からも宿泊場所として活用可能なビジネスホテル、旅館等の確保を進めることが求められています。宿泊場所として活用可能な場所が管内全体でどの程度あるのか、地域資源の把握に努めていただきたいと思います。

生活困窮者自立支援制度における留意点として、生活困窮者自立支援法施行後５年が経過いたしまして、制度の整理が不十分であることによって支援が必要な方に必要な支援が行き渡らないことがないように、一時生活支援事業を実施されていない市におかれましては、速やかな実施をお願いします。国からも一時生活支援事業における一泊あたりの補助基準単価の当面の間の引き上げ

が示されています。

また、生活保護制度に限ったことではありませんが、解雇された住み込み就労者等については会社の寮からの退去が求められる想定されますが、アパート等が確保できるまでの間、会社の寮における保護受給の可否について十分検討し、必要に応じて元雇用主等に協力を依頼する等、居所の確保に向けた支援の徹底をお願いします。

最後になりますが、生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の連携を一層強化し、援助を必要とする方への適切な支援をお願いいたします。

議長（長久手市）

ありがとうございました。次の議題に進む前に３０分経過しましたので、部屋の換気をしたいと思います。５分ほどお時間をいただきますので、そのままお待ちください。

新型コロナウイルス対策のため会議室内の換気を実施

議題４　幼児教育・保育の無償化に伴う施設等利用給付の方法について（尾張旭市提出）

尾張旭市【趣旨説明】

尾張旭市保育課の加藤です。

昨年１０月から幼児教育・保育の無償化が始まりました。保育については、事務手続きで大きく変わるところはありませんでしたが、幼稚園、特に新制度未移行幼稚園については、今まで補助金を年１回、お出ししていたものが、無償化となり毎月幼稚園に直接お支払いしたり、保護者の方に直接お返しをするという手続きに変わりました。

準備期間があまりなかったこともあり、各市においても、近隣と調整ができていない状況のままスタートしたのではないかと思います。幼稚園は、市域を超えて通っているお子さんがいます。本市では、幼稚園に通われているお子さんのうち、おおよそ半分が市外の幼稚園に通っている状況です。尾張旭市からは名古屋市や瀬戸市の幼稚園に通っているお子さんが非常に多く、幼稚園側からすると市によって対応が違うということで戸惑いがあったり、事務が繁雑になっているのではないかという懸念から、議題とさせていただきました。

議長（長久手市）

それでは、資料４－１のイで「新制度未移行幼稚園の預かり保育利用料金」

について、春日井市さんにお尋ねさせていただきます。

償還払いで個人へ支給と回答する自治体が多い中、春日井市さんでは、「法定代理受領により施設へ給付」としていますが、施設から手続きが面倒であるとか、利用者本人への償還払いにして欲しいなどの声はありませんでしょうか。

春日井市

春日井市保育課の河出です。よろしくお願いします。

法定代理受領にしたのは、保護者や幼稚園側からの要望ではなく、保護者の一時的な自己負担を軽減するということと、合わせて事務負担も軽減するという観点から本市としては法定代理受領でお願いしたいと幼稚園側と話をしました。幼稚園側からも特に意見はなく、よい提案だと言ってもらえました。

議長（長久手市）

続いて、資料４－２のウ「新制度未移行幼稚園の副食費補足給付費」について、北名古屋市さんにお聞きします。

北名古屋市さんでは、「４月から独自施策により所得に関係なく無料化した」とのことですが、保護者の所得については確認しているのでしょうか。国等へ補助金を申請するためには、調査する必要があると思いますが、どのようにされているのでしょうか。

北名古屋市

福祉部の青山です。

４月から資料に記載のとおり、給食費を所得に関係なく無償化としていますので、全ての保護者にその制度の申請、あくまで申請という形で申請書を提出していただき、税情報を確認することに全て同意を得ておりますので、全員の所得を確認した上で補助金の申請をしています。

議長（長久手市）

それでは、提案市の尾張旭市さん、よろしいでしょうか。どこかお尋ねしたい市がありましたら、お願いいたします。

尾張旭市

春日井市さんにお聞きします。預かり保育の法定代理受領について、新２号保育の必要性があると認定された方は預かり保育も無償化の対象になって、新１号で預かり保育を使いたい方は無償化の対象外となっているのですが、幼稚

園から認定の違いで異なる対応をすることが大変という声はお聞きになっていないでしょうか。

春日井市

大変だという声は全くありません。幼稚園側も混乱はなく、春日井市のやり方を他市でも導入してほしいという話も聞いています。無償化だと上限金額の管理をして、結果的にはみ出した部分のお金を保護者から別途徴収が必要となることから、お金の管理が複雑になり、園側としての負担や抵抗があるかと思っていましたが、概ね１年たって特に問題はないと聞いています。

議長（長久手市）

他市の皆さま、お尋ねしたい点、また、ご意見がございませんでしょうか。

（なし）

愛知県からのコメント

子育て支援課山内です。

幼児教育・保育の無償化が昨年の１０月から始まりました。提案市の尾張旭市が言われたとおり、本当に短期間で準備いただくようなことになり、各施設の調整も困難で大変ご苦労されたと思います。支払い方に関しては、国の方が地方公共団体の方に償還払いもできるし、法定代理受領もできるということで自由に選択できるという形で課せられたため、いろいろな方法がでてきました。実際は資料の各市回答にあるように、新制度未移行の幼稚園は法定代理受領でやっていて、預かり保育はほとんど償還払いというパターンが多いが、春日井市さんのように法定代理受領でうまくやっている事例も聞きましたので、今後、始まってまだ１年もたっていないところですので、今後の市町村の状況、各施設からの要望もあるのでその状況も聞きながら国がどのような舵取りをするか見ながらなるべく皆様の事務負担にならないような形で進めていけるとよいと思いますので、今後ともご協力いただきたいと思います。

議題５　新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組みについて（北古屋市提出）

北名古屋市【趣旨説明】

北名古屋市役所健康課柴田です。

「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組みについて」お伺いし

ます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日々変わる情勢の中、各市町において様々な事業を展開していると思います。今後もこのような対策が必要になってきますので、皆様方のお考え取組状況についてお伺いしたいと思っております。３項目についてお伺いいたします。

１点目は、病院や福祉施設などのニーズを把握して行った支援があれば、ご教示ください。

２点目は、今年度の特定健診・保健指導・がん検診について、工夫をして行った事例があればご教示ください。

３点目は、新型コロナウイルス感染症第２波へ備える対策として、市が通所介護事業所や訪問介護事業所などに対して行った支援があれば、ご教示ください。

議長（長久手市）

ありがとうございました。

それでは、私から半田市さんにお聞きします。

半田市さんでは、「１病院や福祉施設などのニーズを把握して行った支援として、通いの場に対し聞き取り調査を行い、ニーズがあった際に対応できる環境をつくっている。」とのことですが、現状について教えていただけますでしょうか。

半田市

半田市地域福祉課の杉江です。

特に何か環境を作った、講じたということではなく、実際に調査を行い、いつでも要望やニーズがあったら相談に応じるという相談体制を事業所等に伝えているということであり、誤解をまねく表現となったことをお詫び申し上げます。

議長（長久手市）

弥富市さんにお聞きします。

弥富市さんでは、「２今年度の健診・指導で工夫をして行った事例として、ＷＥＢの導入、スマホでドック、ＩＣＴを活用したオンラインでの保健指導」とのことで、先進的な取組みだと思いますが、教えていただけますでしょうか。

弥富市

弥富市福祉課の岡田です。

本市保険年金課に話を聞いたところ、昨年度から４４歳から４９歳までの５年以上特定健診を受けていない方の内、希望の方に自宅での血液検査キットで血液検査を行い、その結果をスマホで確認していただくという事業です。まだ、今年度は契約がされていませんが、前年度は委託業者としてＫＤＤＩ株式会社ソリューションと契約をしました。

ＩＣＴを活用したもので、特定保健指導対象者のうち、希望者の方に面談をＩＣＴを活用して行う予定とのことです。今年度、株式会社ベネフィット・ワンと契約を予定しています。申込は昨日の時点で、全くないという状態です。

議長（長久手市）

提案市の北名古屋市さん、よろしいでしょうか。

他市の皆さま、お尋ねしたい点、また、ご意見がございませんでしょうか。

東海市

東海市健康いきがい対策監の小島です。

「（３）新型コロナウイルス感染症第２波へ備える対策として、市が通所介護事業所や訪問介護事業所などに対して行った（行う予定含む）支援」について、新たに対策を始めたものがありますので、ご紹介させていただきます。

東海市では、介護施設等で介護施設の方、もしくは入居者等に新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合、当該介護施設に従事する者が受検するＰＣＲ検査に関する費用の一部を補助するという事業を７月３１日から始めました。濃厚接触者にあたると県の行政検査でＰＣＲ検査を受けられるのですが、濃厚接触者の範囲にはあたらないが、それに準ずるような職員の方もいるため施設の方からＰＣＲ検査を受けてという声があがり、そのような費用を市で補助するという事業を始めましたので、紹介をさせていただきます。

議長（長久手市）

ありがとうございました。

せっかく、ご紹介がありましたので、この件についてご質問はありませんか。

（なし）

愛知県からのコメント

感染症対策局感染症対策課の垣添です。

新型コロナの第２波がきているという認識で７月から感染者がかなり増え

ている状況になります。当初は夜の街、クラスター的な感じで若い人が多いという印象であったが、８月に入り比較的年齢の高い方の感染、中等症の患者さんが増えているという状況があり、非常に予断を許さない状況になっています。また、医療施設や福祉施設でもクラスターが発生している状況で、速やかに対応していくことでクラスターの拡大を防ぐということを目指していますので、今後とも協力をよろしくお願いします。

議長（長久手市）

ありがとうございました。

それでは、議題の「６　その他」としまして、皆さま、せっかくの機会でございますので、何かございましたらご発言願います。

（なし）

（４）次年度の当番市　　名古屋市

（５）閉　会　　午後２時２８分